

(仮称) さむかわ自殺対策計画(案) パブリックコメント実施結果 (案)

1 募集期間 令和元年12月1日(日)～令和2年1月5日(日) (36日間)

2 資料配布場所

寒川町役場1階ロビー、同2階町民相談室、寒川町民センター、同センター分室、北部文化福祉会館、南部文化福祉会館、健康管理センター、シンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館)、寒川総合図書館、ふれあいセンター、町ホームページ(閲覧)

3 意見の提出状況等

意見提出者数 6名

(うち、住所(所在地)が不詳のため、寒川町パブリックコメント手続きに関する規則(以下、規則)第6条第6項の規定を満たさない方:1名)

意見総数 18件(内訳別記)

(うち、住所(所在地)が不詳のため、規則第6条第6項の規定を満たさない件数:3件)

4 内訳別意見件数(規則第6条第6項の規定を満たさない3件の意見を除く)

意見の内容	意見数	ページ
計画名について	1	表紙
第1章(数値目標の併記について)	1	P.4
第2章(自殺原因の分析について/グラフについて)	2	P.5~10
第3章(取組事業と事業数について/啓発周知方法の提案について)	3	P.13~22
第4章(進捗管理について)	1	P.23~24
計画全体にかかわるもの	4	—
パブコメ概要版について	2	—
その他の意見	1	—
合計	15	

※ 各意見の内容は別紙資料「意見の内容と町の考え方(全文)」の該当ページをご覧ください。

※この「パブリックコメント実施結果」については、資料配布場所と同様の場所でご覧いただけます。本パブリックコメントにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お問い合わせ先: 寒川町町民部町民窓口課町民相談担当
電話 0467(74)1111 内線 253 FAX 0467(74)2833
E-mail soudan@town.samukawa.kanagawa.jp

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
1	1	第2章 (P. 5~P. 10)	○町内で起きた自殺の原因の積み上げと分析を望みます。	自殺に関する統計である厚生労働省の「人口動態統計」、警察庁の「自殺統計」、さらにこれらを加工した「地域自殺実態プロファイル」等を活用し、寒川町の自殺の実態を分析し、計画を策定しております。今後もこれらの統計等を活用して進行管理を行ってまいります。
	2	第3章 (P. 13~P. 22)	○自殺は様々な理由・事情があるがゆえに、幅広い取組をするのだと推察します。ただ、取組例を見る限り、一般向けのサービスをそのまま自殺対策事業にしているだけだと感じます。	自殺対策計画は、自殺対策基本法において、都道府県や市町村に策定が義務づけられたものですが、内容については、地域の実情に応じて、既存の事業を最大限に活かす形での策定が求められております。よって、町でも既存の事業を自殺対策の視点を加えて検証し施策の取組といたしました。
	3	概要版	○回覧板でまわってきたパブコメの様式が、見やすく読みやすかったので、意見を送ろうかという気持ちになり、初めてご意見しました。	ご意見をいただき、ありがとうございます。
	4	概要版	○「手間がかからず」「すぐ」情報が見られるようにパブコメのやり方の改善を望みます。 用紙に書いてあったQRコードが、パブコメのページではなく、町ホームページのトップ画面へのリンクでした。欲しい情報にたどり着くまでに手間がかかりましたので、今後は改善して頂きたいです。住民の手間を軽減し、意見を集め易くするためには、情報を見てもらいやすくする配慮が必要です。	直接パブリックコメントのページへリンク出来るよう、今後の実施に当たっては、QRコードからのリンクの貼り方について改善を図ってまいります。

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
2	1	表紙	町のホームページで計画案の資料(全24ページ)を入手して、「自殺対策基本法」が基になっているとは言え、「自殺」の文字があり、当方の情報不足ではありますがビックリしました。計画案の主題を「町の重点施策」を基に策定して、「さむかわ自殺対策計画」は添え書きにすることで柔らかくならないかと感じました。例えば、主題を「生きることの包括支援計画」とするなど。	パブリックコメントを実施するにあたり「(仮称)さむかわ自殺対策計画～支えあい、こころつながる寒川町～」といたしましたが、ご意見のとおり、初めて目にされる町民の方にとっては、驚きのある計画名であるのかもしれないと。より多くの町民に受け取り易いものとなるよう、主題の変更を検討いたします。 なお、令和元年12月現在で自殺対策計画を策定している神奈川県内29市町の計画名を調べたところ、主題に「自殺対策計画」という文言を使用していない自治体が2市ありました。この2市でも副題には「自殺対策計画」と明記されております。
	2	第1章(P.4)	第1章の4項「計画の数値目標(自殺死亡率)」に関して、「自殺死亡率」は人口10万人あたりの自殺者数との説明があり、2013年～2017年の5年間の「自殺死亡率16.2」(単位は人/年)としています。今年11月1日現在の寒川町の人口(48,378人)当りに換算すると7.837人になります。この点で、町の人口当たりの平均自殺者数と対比した解説、更には数値目標に添書きを追加すると町の現状に照らして判り易くなりそうに感じます。	計画の数値目標は、国や県の数値目標と比較し易いよう自殺死亡率としております。自殺死亡率は、人口の変動を考慮しておりますが、平均自殺者数はそうでないため、併記することは難しいと考えます。

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
2	3	第2章 (P. 10)	第2章の6項「寒川町の自殺の特徴」の中で、2013年～2017年の5年間で寒川町の自殺者数は39人としていますが、同1項の自殺者の年次推移のグラフによる5年間の合計は46人となっております。情報に不一致はありませんか。	46人は「人口動態統計」の数値を用いており、39人は「警察庁自殺統計」を基にしている自殺総合対策推進センターの「地域自殺実態プロファイル」の数値を用いているため、人数の差が生じておりますが、より統計の違いが伝わるよう文章の変更を検討いたします。なお、人口動態統計は日本における日本人を対象とし、住所地を基にしています。地域自殺実態プロファイルの自殺者数は、日本における外国人を含む寒川町に居住実態のある人のみを対象にしているなどの差異があります。人口動態統計の方が、古い年度からの数値が公表されており、寒川町の自殺者数の推移が分かりやすいため、第2章の「1 自殺者数の年次推移」「2 全国との比較」部分では、こちらの統計を用いております。
	4	第3章 (P. 13～20)	第3章の「基本施策」では、取組事項として従来から実施しているものも含めて、非常に多くの項目を特定しており、今回の新しい活動として特に重要な取組事項に絞り込む必要があるように感じます。このままでは、管理の範囲が多面的になり目標を効果的に達成できるか懸念されます。	自殺の原因は1つではなく様々な要因が複雑に絡み合っていることから、計画の策定に当たっては、町で行っている生きる支援に関連する事業を総動員して、全町的な取り組みとして自殺対策を推進していきたいと考えております。そのため、取組数が多くなっておりますが、これらに連携して取り組むことで、目標が達成できるものと考えております。

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
2	5	第3章 (P. 14)	第4章の「基本施策」の3章に示されている「町民への啓発と周知」は本活動で最も重要な検討すべき課題と考えます。「進行管理」から出てきた情報をどこで、どのような方法により展開するかを具体的に計画すべきと考えます。一つ思い付きましたのは、「さむかわい」の定期発刊誌の中に、「生きることの包括支援計画」に関する情報を簡明に判り易くまとめて、特に高齢者にとって役に立つ情報ページとして新設するのは如何でしょうか。	進行管理については、寒川町自殺対策推進協議会等で協議を行い評価し、寒川町自殺対策庁内連絡会において抽出された問題点や課題の解決を図りながら進めてまいります。また、進行管理に当たっては、いただいたご意見も情報発信の参考とさせていただきます。
	6	第4章 (P. 23、24)	第4章の「推進体制」では、「庁内連絡会」と「計画推進協議会」を新設して進捗管理することが示されています。しかし、掲げた目標を達成するための管理指標の数値化が曖昧なため、果たしてこの体制で目標達成のための進捗管理が効果的に行えるか懸念されます。自殺者の発生要因には地方行政毎の差異は殆ど無いと考えられますので、計画案の確定までに広く全国的に先進の地方行政から本町での活動の参考になる取組み事例を集めて、計画の検討に反映する余地はありませんか。	計画の推進に当たっては、実施計画や実施状況などの把握も行っていく考えでございます。しかし、自殺の原因は1つではなく様々な要因が複雑に絡み合っているため、1つの取組を実施すれば自殺者減少に直結するといったものではないのではないか、どれほどの成果を上げたかを数値化することは難しいといった議論を重ね、他の自治体の計画も参考とし、最終的に計画に載せる数値目標は自殺死亡率といたしました。なお、自殺の実態については、地域ごとに特徴が異なりますが、進捗管理等については、他自治体の状況も参考としながら進めてまいります。

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
3	1	計画全体	<p>1. 地域の「つながり」が重要 公的な援助のほか、地域の人的つながりが重要と考えます。誰かに見守られている。孤独ではない(話せる人がいる相談窓口がある)。困ったら助けてもらえる。地域の「つながり」としては、子供会とか老人会とか自治会等組織が地域にはあります。向こう三軒両隣という近所つながりもあります 老人ホーム内にもサークル活動等とかケアマネとかがあります。しかしながら、その対象となる人が全員掌握・包括されているとはかぎりません。参加・入会の有無に関係なく、「みまもり」「対話」が必要です、「対話」がなくても、声掛けだけでもいいのです。監視ではありませんし、強制すべきものでもありません、「一人でない」ということが、非常に大切です</p>	<p>自殺対策を推進するためには、公的な援助だけでなく、民間の医療・保健・福祉その他の関連機関、そして、いただいたご意見のとおり、家族、友人、ボランティアや地域住民相互のつながりが大変重要となります。そのため、計画では、地域全体で互に見守り、支え合うことで、変化に「気づき」、「声をかけ」、困りごとを抱えた人が、相談機関に「つながる」体制をつくり、「誰も自殺に追い込まれることのない寒川町」の実現を目指し、取組を進めてまいります。</p>
	2	計画全体	<p>2. 自殺者の多いお年寄りと老人会について 寒川町では、老人会・老人クラブについても「健康」「友愛」「奉仕」を柱として進められているが、会員で健康な人が、グランドゴルフ等をとおして友愛活動を深め、福祉フェスティバル・産業まつり・清掃ボランティア活動を通して奉仕活動をしているのが現状です。地域の大多数の非会員との交流もなく、柱となっている地域支援ボランティア活動としての「ちょっとした家事の手伝い、通院の付き添い 話し相手 声掛け」の地域ボランティア活動(友愛)は疎んじられている。会員でも、一人暮らし、外に出ることが困難、病氣、寝たきりの人は、真の友愛活動から、見放されているのが現状です。楽しく元気で活動できる人のための「老人会」となっている。</p>	<p>老人会・老人クラブの運営は各団体ごとで異なりますが、町でも各団体の活動活性化について支援しており、本計画の取組の一つとして掲げております。シニアクラブ会員の皆様にも、ゲートキーパー(こころサポーター)研修を受講いただける機会を設けることで、更なる友愛活動につなげていただければと考えます。</p>

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
3	3	計画全体	<p>3. 誰でもが参加できる 参加しなくてはならないのは「防災」「地域のつながり」が実証できる</p> <p>大型で強い台風19号が日本を通過中、東京都台東区の避難所がホームレスの被災者2人の受け入れを拒否していたことが明らかになり、是非・議論なりが沸騰したことがあります。防災に関すること(人の命にかかわる)として関心が高まったと考えます。</p> <p>地域活動として、防災を基点とした真の友愛活動が必要と考えます。防災を基点とすると、いろいろなバリエーションが排除できる。</p> <p>相手を思いやる 挨拶をする 声をかける 助け合うという心がけと実践が地域を構成すると地域が安全で明るく、いきいきしたものになり、孤独死、自殺者を多少は減らせるのではないかと考えます。</p>	<p>自殺対策は、個人においても社会においても、「生きることの阻害要因」を減らす取り組みと、「生きることの促進要因」を増やす取り組みが必要と言われております。ご意見のとおり、防災という観点からであれば、地域との関わり(つながり)を持つためのハードルが下がることもあろうかと存じます。また、このつながりが、「生きることの促進要因」の一つになると考えます。また、このような防災に関わる地域の方々にも、ゲートキーパー(こころサポーター)研修を受講いただける機会を設けていきたいと考えております。</p>

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
4		計画全体	<p>私は、さむかわ町に移住してから約30年が経過した72歳の老人です。移住してきた頃は、地域社会になじめずぐくしゃくして暮らしていましたが、住んでいる内に寒川の地が大変よくなり今では生涯この地で骨を埋める覚悟をきめました。運よく長女、長男の家族も寒川に住居を持って暮らしており、常にコミュニケーションをとりながら生活しています。</p> <p>さて 標題の自殺行為対策計画の回覧版を見て早速コメントさせていただきました。参考になるか否かは不明ですが、最後まで読んでいただければ幸いです。</p> <p>自殺のニュースは、寒川町だけでなく毎日のようにTV、新聞などで悲惨な報道がされています。その度に心の痛みを強く感じてなりません。自殺者の年齢も老弱問わず、また性別も関係なく起きていることを知らされます。私が20代の頃、同じ会社の先輩でもあり独身寮で部屋長をされていたS氏(当年45歳)が、突然近くの会社の倉庫で自殺していることが判明し警察が緊急調査したのです。結局自殺(割腹)していることが判明され会社内では大変な事件騒動になったことを思い出します。S氏は、後輩にも優しく人柄もよく常に良き寮の先輩として慕ってきました。それだけにその事件は 大ショックでした。</p> <p>私はその時に、なぜ?なぜ?なぜ?を繰り返して推察しましたが、自殺する決意の原因が未だに解明できません。勝手な推察ですが、彼はいつも市場の(株)を買われて株価が上昇した時には大変な喜びで、当時の自分には何のことかさっぱりわかりませんでした。今になって一喜一憂されていたことがわかりました。</p>	<p>「寒川町から絶対に自殺者を出さない」という強い思いの込められたご意見、ありがとうございます。自殺の原因は多岐にわたっており、またそれらが複雑に絡み合っているといわれます。ですので、どこか一つの機関で対処できる問題ではなく、全町的な取組が必要となります。ご意見いただいたとおり、何かの変化に気づいたら、声をかける。これがスタートになるかと思えます。地域全体で、「気づき」「声かけ」「傾聴」「つなぎ」「見守り」ができるよう自殺対策を支える人材の育成のため、ゲートキーパー(こころサポーター)養成研修等の取組を進めてまいります。</p>

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
4			<p>勝手に推察すると、自殺の原因は、自分の購入している株価が大幅に下落してそのショックで自殺行為まで発展したのではないだろうか?いやもっと奥の深い悩み事が本人のなかで葛藤していたのではないだろうか?等・たくさんの原因を推察しました。これは実例を公表しましたが、自殺する決意には何らかの“原因”があったことことから起こったものと思います。お釈迦さまのお言葉に「因果俱時」があります、これは結果と原因は必ず一致すると言う意味だそうです。概説すると、今の姿を見れば過去、未来の結果が分かる、つまり今を一生懸命生きることが大事だ。最近はSNSが当たり前の時代となり、小学生から携帯、スマホを親が保持させているというではありませんか!確かに親は子供を常に安全安心に見守る義務があるので、用心のために強制的に持たせているのではと想います。</p> <p>しかしその反面悪質なメールを無差別に発信しそれに引っかかった1 /10 ,000人を誘惑する、そして結局誘拐事件化に発展するという事件も日常茶飯事にニュースが流れています。上記は、誘拐事件の話ですが、自殺事件も何らかの誘惑に巻き込まれて起きることもあります。人は、誰でも自分自身の幸せを願って生きているのです。そのためには、一人では生きていけないので、家族や周囲の友人、知人など多くの人達に囲まれて生きてゆくしかありません。その過程では、いつもハッピーに暮らすことも困難となります。幼い時代には、いじわるされたり、嫌な言動でいじめにあったりすることも多いのです。被害にあった幼い子供はそのことが大変ショックを受けて登校拒否したり、仲間外れになることもあります。それをいち早く見つけ</p>	

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
4			<p>ば、対策の手段をうつことができます。しかし一番怖いのは、本人が自分の心の中で抑えて家族や友人に相談しない子が多くいることも忘れてはいけません。また両親が不仲になり離婚や家庭内トラブルがおきて幼い子供の心を大きな傷をつくる。特に幼い頃いじめにあった出来事を保持しながら、大人になってゆく、そこでまた大人社会で、非難されたり影口を言われたりすると、本人は萎縮してしまうのです。そうすると、会社や仕事まで休むようになりやがては無職のまま年齢が経過する。やがては、家族からも怒鳴られて居場所を失って 自殺を図る 行為に発展することも多いのではと思います。その前に、何か変化点に気が付いたら優しく声をかけてやる。</p> <p>例えば元気してる?とかたまにや食事でもいかない?自分も体調よくないが何か悩み事はない?そうすることで、何らかの返事があるかもしれない、その時が相手を元気つけるチャンスではないでしょうか?</p> <p>私自身の経験談ですが、身体も○cm ○kgと小柄な体格で18歳で入社しました。○○県の遠方の田舎から未知の○○市に就職し、右も左もわからず職場に真面目に勤務したのですが、やはり同期の仲間に比べると体格も小さくいつも会社では、上司の指導だけに懸命に頑張りついていけましたが、他の職場の先輩達から、少しの仕事のミスを大きく持ちだされて嫌味を痛感して会社を退職しようかと何度も思ったこともありました。そこで自分の心の中で負けてなるものか!と強い気持ちで職場に向かい更には、格闘技に興味を抱いていたので、近くの柔道場に仕事終了後通いはじめたのです。20歳の時でした。</p>	

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
4			<p>初めのころは、体格が小さいこともあり、柔道の稽古でもいつも投げられ締められて厳しい目にあうのでやはり自分には格闘技はムリかと思いやめることも考えたのですが、根性だけは人1倍保有していたおかげで柔道初段(黒帯)を取得できたのです。つまり柔よく剛を制すの武道の精神あるように、自分より大きい人間を軽く投げたり関節技で相手をギブアップさせたり成長したのです。柔道初めて6年かかりました。そこで会社でも〇〇が柔道初段とったらしいぞという評判が湧きおこり、かつてのいばっていた諸先輩も言葉使いが一変したことをはっきり覚えています。苦勞したけど黒帯を自分の力で取得した嬉しさは忘れません。その後職場が移転したので、柔道場が遠方になり柔道は諦めざることになりましたが、新しい工場に空手道部があったのでそこへ入部し、残業終わってから空手を教わりました。和道流空手です。空手道も武道の仲間なので、楽しく練習し、今でも自宅で空手の稽古を行っています。健康維持に役に立つと同時に、大人老人の仲間でも、堂々と楽しく交際しております。</p> <p>自慢話になってしまいましたが、自殺の原因は何か?必ず原因があるのです。まずそのためにも、我々が暖かい心をもって、支援する。その勇気が不可欠とおもいます。この住みよい環境のさむかわ町から、絶対自殺者をだしてはなりません。自分も何かの機会に対策に取り組んでいければと思うこの頃です。以上長文になりましたが、最後までよんでいただきありがとうございます。私も老人の仲間入りになりましたが、これから互助の精神で少しでもお役に立てればと念じております。</p>	

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
5		その他	<p>寒川町にも一定数の自殺者が毎年存在していたことを回覧板で知りました。ぜひ、掲げられている理念の「誰も自殺に追い込まれることのない寒川町」の実現を目指して、予算も割いて、対策を進めていただければと思います。この意見募集の機会をいただいて、ぜひとも自殺がなくなるように、また多くの日本人が幸福に生きられるように、精力的な活動を行っている相川圭子さんの資料と、それが活きたある事例を紹介させていただきます。</p> <p>資料について自殺に言及しているものは、以下のとおりです。(★印をつけたものは、寒川図書館にもあります)。自殺対策を支える人材育成や、町民への啓発・周知活動へ、活用する資料の1つとしてご検討いただければ有り難いです。</p> <p>(1) ラジオ深夜便「ヨガと瞑想の極致を求めて」CDセレクション NHKサービスセンター</p> <p>(2) ★心を空っぽにすれば夢が叶う (p212~) 講談社</p> <p>(3) ★死を見つめるたった1つの方法 (p85~) KADOKAWA</p> <p>(4) ヒマラヤ大聖者 慈愛の力奇跡の力 (p239~) さくら舎</p>	<p>予算については、補助金の活用も視野に入れながら検討してまいります。情報をご提供いただいた資料については、ひとつの支援の方法として情報を共有してまいります。</p>

意見者番号	意見番号	案中の該当箇所	意見の内容	町の考え方
5			<p>事例は、精神科医の先生から聞いた話です。ある患者さんの事例で、自身の子供が自害してしまったために、苦しみから鬱と自暴自棄に陥っていたのに、相川圭子さんのCDを聞いているうちに、徐々に生きる力を取り戻し、治療に対しても前向きになり、生活保護の状態からも抜け出していった、というものです。家族の中に自殺をしてしまった方がいる人たちへのサポート例として、知っていただきたく紹介させていただきます。CDについては、上記(1)の他、寒川図書館にあるものとして下記の(5)を挙げておきます。</p> <p>(5) ★瞑想のすすめ SBクリエイティブ 以上、寒川町から自殺がなくなりますように、みんなが助け合って幸せで生き生きした町になりますように、よろしく願いいたします。</p>	